

1. 色自体の認識をどのように行っているのか

A:
メディアデータを解析して色の属性を判断しているのではなく
“カラーイメージスケール(小林重順著)”において
3色の組合せとそれらから人が連想する形容詞の関係について
蓄積されたデータを参照し利用しています。

2. 実験の評価方法におけるポイントの設定は適切ではないのではないか

A:
今回はランキングの第3位までという少ないサンプルで実験を行い
1位に高いポイントを与え2位以下を線形に減少させる配点としましたが、
確かに問題があります。
1位と2位の差を99位と100位の差よりも重視できるような配点にするには
線形に減少する配点ではなく、順位とポイントが反比例の関係になる配点を
することが望ましいと思います。

3. 学習の時間はどれだけかかるのか

A:
ユーザが納得ゆくまでの時間なので個人差があります。
また、格納する配色データの数にも依存します。
しかし、基本的に1位にくるデータの調整を重視することと、
上位10位程度が重要であると考えれば1時間程度あれば
十分であると考えられます。